

自己評価アンケート

アンケート集計（R5.12月末実施）

1. 学校の教育目標

技術・人間性において全国で通用する学生を育成する。

2. 本年度、来年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- ①多様性に通用すべく、幅広い知識や技術を学ぶ姿勢を養う。
- ②コミュニケーション能力の向上。社会に出て恥ずかしくない礼節やマナーを身につける。
- ③成長のために自ら行動し、自分の強みを周りにアピールする。

3. 評価項目の達成および取組状況

(1) 教育理念・目標

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
1-1.	学校の理念・目的・育成人材像が定められている (専門分野の特性を明確にする)	3.1	2.4	+0.7
1-2.	学校における職業教育の特色を理解し、生かす	3.1	2.6	+0.5
1-3.	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想をもつ	2.9	2.5	+0.4
1-4.	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などの 学生・保護者への周知に努める	3.0	2.0	+1
1-5.	各科の教育目標・育成人材像は、業界のニーズに向けて方向づけされて いる	2.6	2.2	+0.4

【課題と今後の改善策やご意見】

○学校の理念はあるが、職員、学生を含め十分に周知がされていない部分もあるので全員が周知できるような仕組みを作っていく必要があると思う

【学校関係者評価委員コメント】

- 学校の理事が新年度が始まる前に、全職員に周知する機会を作り、職員はそれをしっかり共有し、実現に向けて動いていくことが大切だと感じる
- 前年度に比べると、理念や目標に対する意識が上がっていることが分かるので、継続していただきたい
- 学校において、教育理念や目標は大きく変わることはないと思うが、個人によって捉え方や考え方は異なる部分が出てくるのは当然なので年度初めは必ず全職員で再確認する時間が必要ではと思う

(2) . 学校運営

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
2-1.	目的等に沿った運営方針の策定をする	2.5	2.2	+0.3
2-2.	運営方針に沿った事業計画の策定をする	2.4	2.2	+0.2
2-3.	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化され有効に機能している	2.2	1.6	+0.6
2-4.	人事、給与に関する規定等の整備をする	2.6	2.0	+0.6
2-5.	教務・財務等の組織整備など意思決定システムの整備をする	2.7	2.0	+0.7
2-6.	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制の整備をする	2.8	2.1	+0.7
2-7.	教育活動等に関する情報公開を適切に行う	3.0	2.3	+0.7
2-8.	情報システム化等による業務の効率化を図る	2.4	1.9	+0.5

【課題と今後の改善策やご意見】

- 運営の方針を決定する際は、現場の教員の声ももう少し反映させてもいいのではと感じる
(単純に面積や人数だけではなく、学生に丁寧な指導をしっかりと行えるかどうかなどの観点も大事では・・・)
- 校務分掌をもう少ししっかり定めてもいいのではと感じる

【学校関係者評価委員コメント】

- 理事長と実際に現場で働いている職員との声を併せていくことが大切だと感じる
- この項目においても評価自体は前年度に比べ、上がっているので良好。ただ、内部からの意見が上がっている事柄に関しては改善に努めることが大切。(教員が生徒を育てやすい環境であれば、その教員に学ぶ生徒にとっても学びやすい環境となる)
- 経営や運営のことを考えると教育現場の希望と折り合いをつけるのは、なかなか難しい点もあると思うが、生徒のためにも教員に負担がかかりすぎないようにしていくことは必要だと思う

(3) . 教育活動

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
3-1.	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等を策定している	2.8	2.1	+0.7
3-2.	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の就業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保を明確にしている	2.6	2.1	+0.5
3-3.	学科等のカリキュラムを体系的に編成する	2.3	2.1	+0.2
3-4.	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などを実施する	2.7	2.5	+0.2
3-5.	関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等を行う	2.3	2.3	→
3-6.	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）を体系的に位置づける	2.4	2.6	-0.2
3-7.	授業評価の実施・評価体制は整っている	2.2	2.0	+0.2
3-8.	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れる	2.6	2.7	-0.1
3-9.	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準を明確にする	2.4	1.9	+0.5
3-10.	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけをしている	2.5	2.4	+0.1
3-11.	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員の確保している	2.2	1.9	+0.3
3-12.	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントを行う	2.3	1.8	+0.5
3-13.	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組を行う	2.7	1.8	+0.9
3-14.	職員の能力開発のための研修等を行う	2.4	1.4	+1

【課題と今後の改善策やご意見】

○理容科の教員不足

現状で入学者が増えたところで十分な教育が行えない、教育機関としてそれでもいいのか

○教員の数が規定だけを見れば足りているが、内部・教育の充実を考えればやはり不足を感じる

→学校が十分に教育を行える範囲での募集など、実際に授業を行っている教員の意見も踏まえたうえで検討してみてはどうか

○学校教育に精通する関係者からの評価も必要ではないか

【学校関係者評価委員コメント】

○専門職になるので、教員の確保は難しい点も多いと思いますが、教育の質の向上のためにも検討した方がいいと思います(来年度は理容科の定員も増やすというところで、特に理容科に関しては教員の確保を急いでほしい)

○前年度よりはプラスになっている箇所が多いが、他の項目と比べると全体的に低い評価となっているので理事長と教職員との意見交換はやはり重要だと感じる

○卒業生に募集を募るのはどうだろうか・・・

⇒年齢が近いことで生徒も素直に聞きやすい・生徒との情報交換がスムーズでは

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
4-1.	就職率の向上を図る	3.0	2.6	+0.4
4-2.	資格取得率の向上を図る	3.0	2.8	+0.2
4-3.	退学率の低減を図る	2.8	2.4	+0.4
4-4.	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握する	2.6	2.6	→
4-5.	卒業後のキャリア形成への効果を把握し、学校の教育活動の改善に活用している	2.2	2.3	-0.1

【課題と今後の改善策やご意見】

【学校関係者評価委員コメント】

○教育機関である以上、資格取得率や就職率は高い水準を保ってほしいので生徒も教員も一丸となって頑張してほしい

○今後は就職難の時代が予測されているため、早めの対策を学校でも考えていくことが必要だと感じる

(5) . 学生支援

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
5-1.	進路・就職に関する支援体制を整備する	2.8	2.7	+0.1
5-2.	学生相談に関する体制を整備する	3.1	2.8	+0.3
5-3.	学生に対する経済的な支援体制を整備する	2.9	2.8	+0.1
5-4.	学生の健康管理を担う組織体制がある	2.3	2.3	→
5-5.	課外活動に対する支援体制を整備する	2.7	2.4	+0.3
5-6.	学生の生活環境への支援を行う	2.8	2.2	+0.6
5-7.	保護者と適切に連携する	2.9	2.3	+0.6
5-8.	卒業生の支援体制がある	2.4	2.2	+0.2
5-9.	社会人のニーズを踏まえた教育環境の整備をする	2.1	2.2	+0.1
5-10.	高校・高等専門学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組を行う	2.7	2.4	→

【課題と今後の改善策やご意見】

【学校関係者評価委員コメント】

(6) . 教育環境

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
6-1.	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できるよう整備する	2.0	1.8	+0.2
6-2.	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備する	2.4	1.9	+0.5
6-3.	防災に対する体制を整備する	2.7	2.0	+0.7

【課題と今後の改善策やご意見】

○老朽化により不備な個所も多いため、少しずつ改善してほしい

【学校関係者評価委員コメント】

- 学校も年数が経ってきていることもあり、老朽化は致し方ないが細かい設備や備品についてはすぐに対応できるのではと感じる(生徒の学習意欲も高まるのでは・・・)
- 会計予算との兼ね合いをしながら、整えられる設備は少しずつ改善していけばいいのではと思う

(7) . 学生の受入れ募集

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
7-1.	学生募集活動は適正に行う	3.5	3.0	+0.5
7-2.	学生募集活動において、教育成果を正確に伝える	3.5	2.7	+0.8
7-3.	学納金は適正かつ妥当なものとなっている	3.3	3.0	+0.3

【課題と今後の改善策やご意見】

【学校関係者評価委員コメント】

○学校の財源の多くはやはり生徒募集にあると思うので、ガイダンスやオープンキャンパスの内容等工夫しながら今後も頑張ってください

(8) . 財務

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
8-1.	中長期的に学校の財務基盤の安定化を図る	2.4	2.4	→
8-2.	予算・収支計画は、有効かつ妥当に策定する	2.5	2.3	+0.2
8-3.	財務について会計監査を適正に行う	2.7	2.7	→
8-4.	財務情報公開体制は整備されている	2.5	2.5	→

【課題と今後の改善策やご意見】

【学校関係者評価委員コメント】

○早く運営が安定するように、見直すべきところは早めに対処することが大切

(9) . 法令等の遵守

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
9-1.	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営をする	3.0	2.1	+0.9
9-2.	個人情報に関し、その保護のための対策をする	3.0	2.4	+0.6
9-3.	自己評価の実施と問題点の改善を行う	2.5	2.0	+0.5
9-4.	自己評価結果を公開する	2.5	2.3	+0.2

【課題と今後の改善策やご意見】

【学校関係者評価委員コメント】

○せっかく自己評価をしているのだから、この資料を基に職員全体で討議・意見交換をする場を新しい年度が始まる前に是非設けてください

(10) . 社会貢献・地域貢献

	評価項目	評価		
		今年度	前年度	比較
10-1.	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行う	2.6	2.4	+0.2
10-2.	学生のボランティア活動を奨励、支援する	2.9	2.4	+0.5
10-3.	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施する	2.4	2.1	+0.3

【課題と今後の改善策やご意見】

【学校関係者評価委員コメント】

○ボランティア活動や社会貢献に関しては、今後も学校全体で積極的に取り組んでほしい

(11) . その他

○「自己評価」となっているが、各項目の文章を読んでいけばどうしても自己だけに収まらない項目が多い
→完全に「自己評価」にするのであれば、項目の内容や文章を少し変えてみてはどうか